

北海道洞爺湖サミットへの所感

- 1 . 先進国首脳が問題意識と危機意識を共有し、協調して取り組むという流れの芽生えを歓迎する。
- 2 . 新興国・途上国と先進国との会話が促進されたことは意義深い。しかし、温暖化ガスの削減について、先進国として責任ある目標を示すことが出来なかったのは残念である。
- 3 . 今回の議長国として、09年末までに交渉される削減の枠組み構築に向け、責任ある中期的目標の設定、インセンティブの導入など国際的議論の交渉促進に貢献すべきである。
- 4 . 環境以外の資源高、ドル安、景気減速・インフレの同時進行などへの具体的な取り組みが出来なかったのは、新興国の台頭の中でG8の地位低下が現実化してきたことを印象づけた。
- 5 . 投機の監視強化とあり余る世界のマネーを食料増産や環境に調和した経済成長に誘導する国際協力などを求めたい。
- 6 . 今回は外相会合が京都で開催されたが、次回日本でおこなわれるサミットでは、首脳会合が京都で開催されることを願っている。

平成20年7月10日
京都商工会議所
会頭 立石義雄